



ごあいさつ

## 「日本丈風の会」第二期活動 開始にあたって

2019・5・1～ 記

### 「令和（後平成）」期は「三世代平等化」のチャンス 「平成」から「令和」へ。

改元を機に青少年や中年の人びとは勢いづくでしょう。が、「昭和」生まれの高年層は、これまでどおりの「ゴムひも伸ばし」の政策で“温存”されたまま、いまある社会で身を細めて暮らすのでしょうか。これでは行く先「冷和」になりかねません。

このたびの明仁天皇の生前退位と改元は、みずから暮年の人生を確保されたもの。上皇としての期間を本会では「令和（後平成）」期と呼んで、4人にひとりを超え、3500万人に達した「高年世代」が「自立」をすすめて存在感を示して、延滞してきた「三世代平等化」を推進するチャンスと位置づけています。そのためには生活圏の仲間とともにみずからの生活感性にふさわしいモノ・居場所・しくみをこしらえること。円熟期のみなさんには、経済を伸長（成長といわない）し、文化を深化熟成し、これまでなかった新たな「三世代平等社会」を創り出す能力も役割もあるのです。

「日本丈風の会」は、先の大戦のあと、平和で平等で豊かな日本社会（戦後復興・高度成長・九割中流＝史上まれな近似大同社会）をこしらえて、なお健丈に過ごしている高齢者のみなさんが集まって、国連が掲げる「高齢者五原則」（自立・参加・ケア・自己実現・尊厳）に沿ってさまざまな課題を実現するために協力し支え合う会です。[「丈風」2016年2月号](#)→「長寿をすべての国民が喜びの中で迎え、高齢者が安心して暮らすことのできる社会の形成」（前文）をめざす「**高齢社会対策基本法**」の制定が1995年でした。新世紀を前にした1999年が「**国際高齢者年**」で、テーマは「すべての世代のための社会をめざして」（towards a society for all ages）でした。高齢化は国際的な潮流であり、そのフロントランナーであるわが国にはモデル事例としての「**長寿社会＝三世代平等社会**」の達成が期待されているのです。



本会は1999年の「国際高齢者年」に活動を開始し、10年目の2009年10月を機に、高齢社会構想を掲げて活動する「高連協」の動向を軸にして、2012年5月からweb『月刊丈風』を発行して、初めてゆえに試行しつつ形成に向かう高齢社会の取材と広報をおこなってきました。バックナンバー（2012年5月～2017年5月・53号）は、この間の「内閣府」「高連協」「さわやか福祉財団」「プラチナ大賞」「RISTEX」「社会福祉協議会」による先導的な活動の記録となっています。



「月刊丈風」  
[2014年8月号](#)↑



内閣府フォーラム



高連協公開講座



さわやかフォーラム



RISTEX

## ◎当面する活動

これまで1999年～2019年の20年間は、高齢者による高齢者のための活動が中心でした。高齢化率25%（人口4人にひとり）を超えたこれからは、青少年（～30歳・成長期）、中年（～60歳・成熟期）、高年（65歳～・円熟期）の「三世代三期に配慮した新たな社会づくり」を推進する「日本丈風の会」として、大地を潤す小さな泉眼のような、水玉もようのような個々の「人生100年」の姿を見据えてまいります。

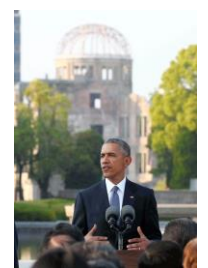
第二期活動は2019年から9年（3年×3）を期間（その1）として、先導する上記の各団体の動向に沿いつつ、個別の課題の実現をめざす集いの場として新たな烽火をかがげました。

**web 情報誌** 月刊・季刊・年版で三世代三期の活動の実情と成果を検証

- ・web『月刊 丈風』 第一期を継承
- ・web『季刊 丈風春秋 傘寿期+米寿期』 80歳代を中心に「100年人生」の“見える化”
- ・年版『アルマナック 三世代平等社会2020』 わが国の「高齢化」の現状

**web「丈風会館」活動** web 会館内にそれぞれの活動の事務局を設けて

- a「三世代平等社会を達成するみんなの会」（教育・医療・年金）
- b「三世代同等同居（三同同）住宅をふやす会」（三世代同居住宅標準化）
- c1「高齢者向けモノとサービスをつくる会」（経済伸長）
- c2「高齢者の居場所・通い場所をつなぐ会」（生活圏の高齢化）
- d「体験した戦禍（銃後・戦後）を家族史として残す女性の会」（銃後・戦後）
- e「内閣府に高齢政策担当特命大臣（専任）を求める会」（専任）
- f「全国の高齢議員をはげます会」（70歳以上）
- g「平和憲法100年記念国際祝典2047推進会議」（国際平和）
- h「第三回高齢化世界会議2022招致の準備会議」（アジア初）
- i「NHKに第二放送とともに第三放送を設ける会」（高年・文化局）
- j「中学校区に公立生涯学習大学校の設置をすすめる会」（生涯教育）
- k「長寿時代にかんする講演セミナー講師の会」
- l「エイジングを語る市民と報道人の会」・・・
- m そのほかご要望を受けて本会が参加可能な活動・事業。新たな課題をもって参加される会員は、ご希望があれば「\*\*丈風の会」を称してご活動ください。本会に参加して同じ趣意の多くの人びとに呼びかけてください。



## ◎会員・会友

本会の会員・会友は、史上に新たな「三世代平等時代」を拓く上記の活動に賛同できるすべての人。活動が可能な課題をいくつでも選んで e-mail [joufuu21@gmail.com](mailto:joufuu21@gmail.com) [mhori888@ybb.ne.jp](mailto:mhori888@ybb.ne.jp) か、〒 tel&fax でお申し出ください。

### ◎会費

- ・活動会員 不要 ・支援会員＝野口英世幣 3（3年分） ・長期会員 福沢諭吉幣 1
- ・支援会友 富貴なる方々は、本会の活動のため次世代の将来のために財政的支援を。  
仁人なる方々は、本会の趣意を固め活動を広めるために発言・投稿でご支援を。
- ・会員・会友の方には web「月報 丈風の会ニュース」をお届けします。

「日本丈風の会」 <http://jojin.jp> 代表 堀内正範

朝日新聞社社友（元『知恵蔵』編集長） 高連協オピニオン会員

[joufuu21@gmail.com](mailto:joufuu21@gmail.com) [mhori888@ybb.ne.jp](mailto:mhori888@ybb.ne.jp)

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 9340-8

tel & fax 0475-42-5673 keitai 090-4136-7811

